

東建パブリニュース

平成30年7月3日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年5月20日 読売新聞 P.25

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

桑名市多度町の多度大社で19日、刀剣の奉納鍛錬が行われ、多くの参拝客らが見守る中、刀匠らが鎚を振るった。

名古屋市中区に2020年6月、美術刀剣博物館「名古屋刀剣ワールド」を開設する同区の東建コーポレ

火花散る刀剣鍛錬

多度大社に奉納



折り返し鍛錬を披露する刀匠ら

シヨンが主催。室町時代から江戸時代初期に活躍した刀匠「村正」が拠点とした桑名の小中学生に、日本刀の魅力を知ってもらおうと企画した。

岐阜県関市の刀匠・尾川兼國さんが、白装束姿で玉鋼を熱し、打ち延ばし、

折りたたむ「折り返し鍛錬」を披露。鎚が振り下ろされるたび、玉鋼からオレンジ色の火花が飛んだ。この日は通常、夜間にしか行わない「焼き入れ」も特別に公開された。

奉納鍛錬の前には小中学生向けの勉強会が行われ、事前に応募した54人が、刀剣商の村上一夫さんから、日本刀の基礎知識や鑑賞ポイントについて学んだ。この日、鍛錬した日本刀は来年4月、同大社宝物殿で特別展示される。